

平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

奈良県

行 事 名 称	第64回文化財防火デーに伴う一日文化財防災官の委嘱
実施期間・日時	平成30年1月20日（土）9時30分から11時30分
実 施 場 所	国宝 當麻寺本堂 奈良県葛城市當麻1263
主 催 者	奈良県広域消防組合消防本部

■実施内容

訓練の想定

奈良県広域消防組合消防長より當麻寺奥院住職に一日文化財防災官を委嘱。當麻寺本堂から出火、一日文化財防災官の指揮のもと當麻寺自衛消防隊が活動する。後着の當麻自警団及び奈良県広域消防組合葛城消防署とともに本堂への一斉放水を行う。

訓練の内容

発煙機の作動で、本堂詰所職員が自動火災報知設備の発信機の押し釦を押下、ベル鳴動により訓練を開始する。一日文化財防災官の下、當麻寺職員が119番への通報、参拝者の避難誘導及び重要文化財の搬出を行う。到着した當麻自警団及び葛城消防署とともに自衛消防隊が放水銃により本堂への一斉放水を実施。放水訓練終了後、訓練用水消火器による初期消火訓練を一日文化財防災官をはじめ當麻寺職員を対象に実施。

参加者及び役割分担

當麻寺職員（10名） 119番通報・避難誘導・宝物搬出
 當麻寺住職消防隊（9名） 放水訓練
 當麻寺婦人消防隊（7名） 放水訓練
 當麻自警団（12名） 放水訓練
 葛城市（2名） 講評及び広報
 奈良県広域消防組合消防本部（8名） 一日文化財防災官委嘱等
 奈良県広域消防組合葛城消防署（10名） 訓練統括・放水訓練・初期消火訓練指導・講評

特に工夫した点

毎年実施している訓練に、委嘱した一日文化財防災官が自衛消防隊等を指揮することと到着した消防隊に状況報告すること等、実際の火災発生時の行動を念頭に訓練を実施した。

問題点・課題

観光シーズンには多くの参拝者が訪れることから、通報や避難誘導を的確に行い、自衛消防隊等による消火活動が円滑に行えるように日頃からの消火設備の点検や操作訓練が重要である。

その他

例年実施している當麻寺での訓練に、文化財防火デーに合わせた奈良県広域消防組合消防本部の行事である一日文化財防災官を委嘱し広報啓発を実施することで、地域住民の方々へ文化財愛護に関する意識の高揚を図ることができた。

訓練風景

